



第 17 回江工関東遊歩クラブ例会の報告

幹事 A40 河野 一史 E47 千代延 武
平成 25 年 5 月 27 日

江工関東遊歩クラブの皆様へ

第 17 回野山散策(箱根駒ヶ岳山頂より芦ノ湖と箱根の山々を眺める)5 月 18 日(土)~5 月 19 日(日)の両日に、初参加の P35 福間さんと M47 鍛冶さんを含めて 10 人で行って来ました。

新宿より小田急ロマンスカー、箱根湯本よりバス、芦ノ湖畔の箱根園でロープウェイに乗換え、眼下に芦ノ湖を眺めてる間に、山頂駅に到着しました。

山頂は濃霧で何も見えず、今回の最大の目玉の眺望を諦め、箱根最高峰の神山を目指して出発しました。低い藻木が登山道を覆い、頭上注意と声掛けし、足元には大小の石がゴロゴロ、土砂止の丸太の蹴上げも 40~50cm あり、喘ぎながら神山(1437m)山頂に到着しました。狭い山頂は、40~50 人のハイカーで賑やかでした。空は青空となり、吹く風も快く、登頂記念の写真を撮りました。

昼食を済ませ、次なるピークの冠ヶ岳目指して木立の中を下って行く途中、後方の先輩より声が上がリ、振り向くと、木々の間より雪を頂いた富士山が見えました。

早く全容が見たくて、一気にペースアップして冠ヶ岳山頂に到着しました。山頂は木々に覆われて見えず、元のコースに戻ると、緑の木立の中に、東北ミツバツツジが薄紫の花を咲かせ、風に乗って硫黄の臭いがしてきて、小涌谷の噴煙が見えてきました。そこからは、富士山のビューポイントの連続です。小涌谷の麓に降り、振り返ると、先ほど登った冠ヶ岳の雄姿と荒涼たる岩肌、立ち上る噴煙が見えました。これも箱根のシンボルです。

売店で名物黒タマゴをほうばり、今夜の宿を目指して長い長い下りの段々を足を引きずり、なんとか宿に到着しました。

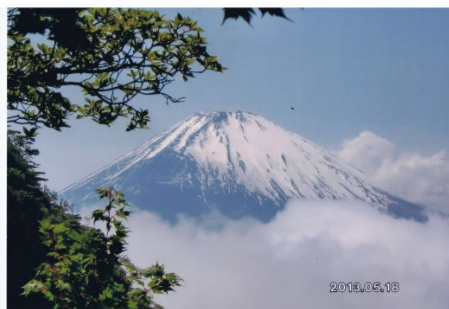
さっそく箱根の名湯に浸り、夕食は箱根の膳で、ビールで乾杯しました。古里の話・神楽・山・健康・クラブの話題で楽しい時間を過ごしました。出て来た料理を食べ尽くし、今回は疲れの為、部屋酒を早々と終え、みんな深い眠りに入りました。

早朝、カーテンを開けると、朝日に富士山が輝いていました。朝湯に入り、朝食はバイキングで腹一杯頂き、タクシーで、元箱根まで行き、杉並木を散策しました。関所跡を通過し、関所跡バス停は見つかったのですが、行き先が違うので、うろうろしていると、少し離れた道端の石に腰掛けて居た岸先輩が、「おい、あのバス違うか？」と指差しました。見事に的中し、そのバスに発車 1 分前に乗車、途中湯坂道入口で下車しました。

明るく広い木立の中、緩やかな小径を登り、鷹ノ巣山を越えて、浅間山に着きました。浅間山山頂は、草原が広がり、空青く箱根外輪山の展望が素晴らしい。コナラ・アカシデ・サクラ・モミジの道を下って行く小鳥やウグイスのさえずりを聞きながら、転がり落ちそうな下り坂を足がガクガクになりながら、やっとの事で湯元にたどり着きました。

食堂に入り、無事踏破を感謝して、ビールで乾杯し、箱根湯本より新宿着で散会しました。

今回の計画はハード過ぎました。私も帰って 3 日間筋肉痛で歩けませんでした。次回から少しやさしい計画を提案させていただきます。



参加者:原田(A32) 石橋(M34) 島田(M34) 福間(P35) 森山(M37) 岸(C37) 森岡(A37) 河野(A40) 鍛冶(M47) 千代延(E47)